

議会だより

2026
5月

3月定例会
vol.186

桜花爛漫に彩る烏帽子山千本桜

満開のさくらで桜色に染まった烏帽子山公園

contents

- 補正予算・当初予算…………… 3～4
- 予算特別委員会…………… 5～7
- 一般質問（9名）…………… 8～12
- 各常任委員会…………… 13～14
- 報告…………… 14～15
- 役員改選…………… 16～17



ホームページは
こちらから

南陽市議会

学校給食費無償化&旧宮内公民館跡地を防災拠点に再整備

3月定例会

7年度一般会計補正予算 3億9,811万円
8年度一般会計当初予算 186億5,100万円

3月2日▶3月19日

選挙1件

◆松川堰組合議会議員の改選（任期4年）となり、3名を選出するもの

承認2件

◆南陽市一般会計補正予算についての専決処分の承認
・衆議院議員選挙に係る補正
◆南陽市一般会計補正予算についての専決処分の承認
・市道除雪委託料に係る補正

諮問1件

◆任期満了につき人権擁護委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり意見を求めるもの

新任・遠藤 寿子氏
・平山 万貴子氏

同意1件

◆任期満了に伴う南陽市太郎財産区管理委員の選任について

再任・高橋 孝雄氏・濱田 義雄氏
・高橋 忠氏・高橋 忠秋氏
新任・高橋 守氏

条例・その他14件

各常任委員会に付託

（P13～14参照）

令和7年度 補正予算5件

一般会計及び国民健康保険・財産区・介護保険の特別会計、水道事業会計の補正予算を審議。
以上、5件はすべて審査を経て可決した。
（P3～7参照）

令和8年度 当初予算8件

一般会計及び国民健康保険・財産区・育英事業・介護保険・後期高齢者医療の特別会計、水道事業、下水道事業の各企業会計の当初予算8件を審議。
一般会計の歳入については、市税は賃金上昇による個人市民税の増収等の見込みにより、市税全体で前年度比0.8%増。
一般会計の歳出については、人件費が前年度比2.9%増、建設費が旧中川中学校・旧宮内公民館解体工事などにより、前年度比23.1%の増。物件費は給食材料費や、ふるさと納税サイト委託料の増分として、前年度比24.6%増を計上。
以上、令和8年度一般会計の規模は186億5千100万円で計上した。
（P3～7参照）

一般質問

計8件はすべて審査を経て承認、可決した。

9名の議員が3日間にわたり当局の考えを質した。
（P8～12参照）

障害者総合支援事業費

4,908万円

訪問介護等の利用者や自立支援医療受給者の増加、グループホーム等の職員や相談支援の体制が強化されたことにより、サービス費や給付費の増加が見込まれることから補正するもの。

中学校施設整備事業費

1,437万円

宮内中学校3階のエアコンについて、老朽化が進んでいることから更新を行うもの。国の補助金を活用し、快適な学習環境の確保を図るもの。

ひきこもりアウトリーチ事業費

706万円

令和7年6月の相談支援拠点開設以来、潜在的なニーズが高いことから、開所日を週3日から4日に拡充し、拠点以外に活動場所を広げたり調理訓練を定期的を実施することで、学習や就労意欲の向上につなげるもの。

ホームページ整備更新関連事業費

438万円

市公式ホームページのリニューアルを行い、利用者が必要とする情報へ容易にたどり着けるよう改善し、情報アクセスの利便性を高めるとともに、ホームページの安定的な運用体制を整えるもの。

令和7年度一般会計

補正予算の主なもの

生活保護費等追加給付事業費

1,077万円

物価下落を理由とした平成25年の生活扶助費の引き下げについて、最高裁判所の判決により「判断の誤り」が認められたことから、平成25年8月から平成30年9月までの扶助費の一部を追加で支給するもの。

令和8年度一般会計

当初予算の主なもの

宮内地区防災拠点 避難地整備事業費

2億3,408万円

旧宮内公民館を解体し、災害発生時等に地域住民が避難できる防災避難地として整備するとともに、地区内の諸行事の際に有効に活用できるトイレや会議室を備えた施設を整備することで、地域の防災力強化と賑わいの創出を図るもの。

(令和8年8月着工 令和9年6月末完工予定)



旧宮内公民館

産業団地整備事業費

391万円

産業団地の整備検討にあたり、候補地の地盤の強度や地層の構成、地下水の状況などを把握し、設計や施工に必要な基礎データを得るため、ボーリング調査を行うもの。

交通バリアフリー基本構想策定事業費

630万円

赤湯駅周辺を重点地区として位置づけ、高齢者、障がいのある方をはじめ、多くの市民が安全かつ円滑に移動できる環境の実現を目指した、南陽市交通バリアフリー基本構想の策定を行うもの。



高校生による電動車いすを使った試乗体験

障害者総合支援事業費

10億2,915万円

障がい者の生活を支える法定給付費等の円滑な執行を確保するとともに、地域参加を促すためハイヤー券等給付事業の対象と支給額を拡充するほか、家族の就労支援やサービス提供の継続性を確保するために、日中一時支援事業の制限緩和と給付単価の増額により、暮らしやすい環境整備を図るもの。

学校給食費無償化事業費

1億7,120万円

子育て世帯の負担軽減を目的に、学校給食費の無償化を実施。小学校は国の制度を活用し、中学校は市独自の取り組みにより、すべての児童生徒を対象に実現するもの。

令和8年度一般会計

当初予算の主なもの

母子保健新規事業費

3,163万円

母子の経済的な負担の軽減を図るため、多胎妊娠の追加分の妊婦健康診査、1か月児健康診査及び産婦健康診査の費用助成を行うもの。また、就学を控えた子どもの特性を早期に発見し、必要な支援につなげるとともに健康の保持増進を図るため、5歳児健康診査を実施するもの。

乳児等通園支援事業費

103万円

生後6か月から満3歳未満で保育所などに通っていない子どもを育てている家庭が、月上限10時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園給付制度で、令和8年度から全国の自治体で実施するもの。

医療的ケア児保育事業費

184万円

日常生活を送るうえで、医療的なケアを日常的かつ継続的に必要とする医療的ケア児を、令和8年度から認定こども園赤湯幼稚園で受入れるにあたり、医療行為を行うための看護師を確保するとともに、必要な物品等の購入を行うもの。



認定こども園赤湯幼稚園

予算

Q & A

予算委員会で審議した内容です

旧中川中学校の解体

◎旧中川中の解体工事に、3億円近い予算が計上されているが、積算の根拠と、工事発注の時期は。
▲積算の根拠として、事前に業務委託し、その後建設課で精査した後に計上している。
除却事業には有利な起債もあり、発注時期は、体育館利用団体とも協議して調整をしていく。

ふるさと納税

NFTの導入



旧中川中学校

◎ふるさと納税返礼品の多くは、高品質の農産物だが、天候に左右され数量を確保できない場合もある。
B級品やNFTの導入を検討してはどうか。

▲品質が少し落ちるB級品の問い合わせも数多くあるため、事業者と相談しながら数量確保を含め返礼品の提供を検討していく。
なお、数量が確保できない場合、翌年に持ち越すようなNFTの導入は、総務省の制度に適合するか否かを含め、研究を進める。
(NFTとは、デジタルアイテムの所有権を証明する特別な証明書のようなもの)

公共交通機関の未来



◎高齢化の進行で、ドアツードアの要望が高くなっていく。

タクシーやデマンドタクシー、カーシェア

リングへの補助は。



▲市民全体に対する利用料の補助は、持続可能な観点から難しい。策定した地域公共交通計画において、新たな地域公共交通の仕組みを検討していく。

魅力ある 高校教育支援事業費

◎県教育委員会では東置賜地区の3高校を再編する方針のようだが、わかる範囲で現状を伺いたい。

また、南陽高校の存続に対する予算措置は考えているのか。

▲県教育委員会において高校再編の大きな

スケジュールは示されているが、具体的なところは示されていない。教育の支援等を始め様々な形で応援しており、予算が必要な場合には提案していく。

関連

◎支援事業の内容は。

▲主に南陽高校市役所部の活動で、商品開発や他市の高校生との交流を図る際の費用としている。



南陽高校

農業振興費

◎南陽産のお米や野菜の生産について令和8

年度は新しい支援の計画はあるか。

▲近年異常気象で農業被害が拡大しているが、このような事案には補助金の支給を行うなど、農家の方々が報われる支援を続けていく。

林業費

◎林業の振興について、令和8年度どのような計画を立てているのか。

▲秋葉山の復興植樹等に注力していく。また、いくつかのモデル事業等も継続していく。



秋葉山の復興植樹

こんな議案を審議しました

鋭く迫る！一般質問

委員会のごっこ

その他

クマ出没への対応策

◎近年、クマが餌を求め市街地へ出没する事案が多く発生しているが、クマの餌となる木の実等の生育状況は調査しているか。

▲クマは、広域で移動しながら生息するため、基礎自治体単独での生息状況の把握は困難だ。餌となる木の実等の状況については、主に国・県が行っている調査情報を基に判断している。

◎いわゆる「ガバメントハンター」について、市では検討しているか。
▲職員の業務負担の状況を鑑みれば、近々人員を割り振るのは難しいが、有志の職員がいれば、市として応援する考えだ。



◎猟友会員の高齢化が進めば、従前の対応が難しくなる。

対応の難しさは理解するが、行政主導での対策をお願いしたい。

▲人口減少に伴い職員数も減少する中で、基礎自治体で出来ることは限られている。

今後、広域的に取り組む課題として県などに働きかけを続けるとともに、職員の自発的な取り組みについては市としても応援する体制を整えていく。

ワインフェスティバル

◎行政としてワイン振興に力を入れていくべきだ。財政的支援はどうなっているか。

▲飲食がメインの事業という観点から、直接的な補助金の支出はしていない。

◎先進地などの事業を、参考にしているか。

▲ワイン組合の方からの情報や、山形県・上山市のイベントを参考にしている。

◎今後さらなるワイン振興を広域的に進めるように要望する。



旧ハイジアパークのその後



◎今後どのようなイメージとプランを持って進めるのか。

▲旧ハイジアパークについては市民の皆様には大変なご心配をおかけしており、早急に結論を出すよう庁内でも検討を進めている。

民間活用が困難であれば行政での解体を含めた対応も検討する必要があるが、解体に係る予算も莫大であるため、財源の手当てをどう

うするかを検討を進め、出来るだけ早期に方向性を示したいと考えている。

少子化対策としての婚活事業

◎本市の大きな課題である、人口減少対策に係わる少子化問題への取り組みとして行う婚活事業であるが、昨年度から大きな予算の上積みがないのはなぜか。



▲18歳から34歳までの男女では80%以上の方で結婚願望がある中、予算規模の大きなイベントを単発で行うより、広域的に小規模なイベントをこまめに行う方が効果的との見方があることから、低予算の広域連携事業にシフト

したため今回大きな予算の上積みは行っていない。

関連

◎結婚はしたいが参加者が集まらない理由に収入面で未来への不安がある。保育料の補助が重要ではないか。

▲結婚の障壁の一つが経済的事情であることは共通認識だ。保育料も給食費のように全国共通で無償化されるよう国に要望していく。

図書館司書の小学校での取り組み



◎図書館管理の特徴的な取り組みは。

▲図書館の運営は、運営協議会を年2回開催し意見を反映している。

例えば、司書のいない小学校などに出向いて、図書を紹介などを行っている。



えくぼプラザ内図書館

文化会館の所管移行

◎文化会館の所管が市長部局から社会教育課へ変更になるが、どういった形で引き継ぎが行われるのか。

また、中央公民館的機能を含めた再設計は検討しているのか。
▲文化会館は社会教育の拠点として重要な施設であり、市民の交流促進・社会教育の場でもある。
色々な意見をいただきながら進めたいと考えるが、現在、施設の予約状況も先まで入っ

ており、しばらくは現状を引き継ぐ形になる。



シェルターなんようホール

文化財の振興費

◎南森遺跡の調査状況と、令和8年度の調査の計画は。

▲これまでの調査で住居跡の遺跡が複数棟確認されている。
令和8年度は、引き続き実態について解明していきたい。

◎旧中川小学校に埋蔵文化財の分室を移設することのだが、令和8年度の振興費に関する計画は。

▲現在の分室は生涯学習ホームにあるが老朽化に伴い、事務機能の移設を進めており、その後段階的に展示機能なども強化する予定だ。

習ホームにあるが老朽化に伴い、事務機能の移設を進めており、その後段階的に展示機能なども強化する予定だ。
◎昨年、没後200年を迎えた南陽市ゆかりの刀匠「水心子正秀」の顕彰碑建立予算のようだが、どのようなものを計画しているのか。
▲石造りの史跡表示と併せ説明看板を生誕地に設置する予定で、国道からの案内板については今後検討を進める。
◎アニメとのコラボも含め、もう少し市としてアピールしてはどう



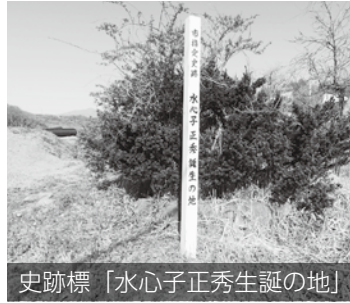
水心子正秀の顕彰碑

◎元利償還金のうち、地方交付税措置を考慮した場合、実質的に市が負担している割合は。

▲地方債については、有利な起債事業を探し運用している。
令和6年度は起債償還額から交付税措置分を差し引き、市が負担するのは約42.3%だ。

◎市債の負担を考える

か。
▲アニメは著作権の問題もあり難しいが、今後市内外にある刀剣や資料をお借りして展示する機会を設けるように検討する。
◎市債の負担を考える



史跡標「水心子正秀生誕の地」

市債

◎赤湯駅機能の充実で、観光アクセスのハブに。

▲赤湯停車場線の街路事業の進捗に伴い、駅構内のブラッシュアップのチャンスと捉えラウンジを整備した。

▲赤湯駅前には宿泊施設や飲食店が不足している。民間企業とも協議し、駅前から温泉街までの賑わいを創出するとともに、街歩きを楽しめるような計画を作っていきたい。

際、実質公債費比率も重要な指標だ。
今後の見通しは。
▲昨年度と同様の傾向だが、将来負担比率は改善している状況だ。
◎今後も市民に分かりやすい財政運営を要望する。

8年度の観光振興は

◎観光振興として、まち歩きを含めた新しい取り組みは。

▲おもてなし事業として、ライトアップを烏帽子山やそれ以外の地域でも行う予定。

烏帽子山では桜だけでなく、シーズンを通して対応を検討していく。

首都圏とのアクセス

◎赤湯駅機能の充実で、観光アクセスのハブに。

▲赤湯停車場線の街路事業の進捗に伴い、駅構内のブラッシュアップ



烏帽子山公園ライトアップ



赤湯駅交流ラウンジ

鋭く迫る！ 一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
 一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。
 3月定例会では、3月9日～11日の3日間にわたり9人の議員が質問を行いました。
 ※質問の内容を要約して掲載します。
 ※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。
 会議録は、6月に公開予定です。



映像配信はこちらから▶

1	山口 裕昭 (保守公明クラブ)	市長選の対応／職員の技能継承／有害鳥獣捕獲隊の待遇
2	濱田藤兵衛 (無会派)	大学生向け育英事業の改善を
3	外山 弘樹 (保守公明クラブ)	市政運営の総括と課題
4	中村 孝律 (保守公明クラブ)	街路樹と雪捨て場の維持管理／談話ホールの利活用
5	茂出木純也 (六合会)	子育て支援の「入口」整備
6	小松 武美 (無会派)	会計年度任用職員の処遇改善を
7	佐藤 和広 (保守公明クラブ)	学校現場が抱える問題
8	高橋 一郎 (真政会)	生成 AI の教育課題と問題点
9	須藤 清市 (六合会)	「学び」で人が集まる南陽市



山口 裕昭 議員

市長改選への対応・ 職員の技能継承と有害鳥獣捕獲対策

7月の市長改選

◎一部新聞で不出馬との報道があった。

〈市長〉支援者の方の意見を聞き、出馬しない意思を固めた。

◎議会での表明より前にプレスリリースを行うのは議会軽視では。

〈市長〉報道各社へは意向を伝えたが、正式には議会で表明としており、議会軽視とは考えていない。

職員の技能継承

◎今後多くの職員が役職定年を迎えると聞くと、どの程度の規模か。また、その対策はしているか。

〈市長〉来年度の役職定年予定者は11名となっており、ご本人の意向

を踏まえて柔軟な働き方に配慮するとともに、専門員として後輩職員を指導し、さらに、こ

れまでの経験や知識を次の世代に継承していただき、現場の混乱を避けるために今後の人材育成及び適材適所の人員配置に努める。

◎職場内外での研修・講習など、技術技能の継承のために計画的な運用はされているか。

〈市長〉昨年4月に南陽市人材育成基本方針を策定し、役職や年齢に応じた研修を民間企業からの人材も活用しながら計画的に展開している。

技術技能の継承は、属人化を防ぎつつ計画的な育成で安定した技術力の維持に努めたい。

鳥獣被害対策捕獲隊の補償

◎近年クマの市街地出没増加に伴い、捕獲隊と自治体間で事故補償の対応で問題が起きているが対応は。

〈市長〉市では捕獲隊員を非常勤特別職とし、公務扱いで従事していただいております。銃による事故に備え自治体向けの保険にも加入している。

◎捕獲隊員の高齢化も進んでいる。ガバメントハンターの採用も含め検討をお願いしたい。



濱田 藤兵衛 議員

奨学金制度の改革急げ



給付型で利用者増を

ように処理されているのか。③この奨学事業に積立基金があると聞いたが、額はいくらか。

◎南陽市報の元日号で、南陽市貸与制奨学金の案内があった。大学生の場合、月額2万円、入学一時金30万円の貸与で無利子であるとの説明である。

①令和5年から8年までの奨学生は高校生・大学生それぞれ何人ずつか。また、創設当初昭和55年頃や平成12年頃の奨学生の人数はどれほどか。

②最近の南陽市育英事業の予算は当初年350万円程度であるが、調定額として30万から1千万円近い額を収入に加え、残額決算額は60万から900万円となっている。

決算後の残金はどの

①令和5年度、高校生0名、大学生2名。令和6年度、高校生0名、大学生2名。令和7年度、高校生0名、大学生1名。令和8年度、高校生0名、大学生0名。なお、昭和55年度の奨学生は17名。平成12年度は29名だった。

②翌年度に繰り越し、育英事業の財源として活用している。

③令和8年2月段階で約7千560万円ある。

◎授業料・生活費の高騰化の中で奨学金月額2万円は適切な金額か、貸与と給付のどちらが

いいか、申し込みの時期など、制度の見直しが必要ではないか。

へ市長 財源確保、制度の持続可能性、公平性の観点から総合的に研究する。

◎貸与型でなく、村山市のように40万円程の給付型にするなどの改革をしようか。

へ市長 課題を整理し、村山市の給付型は参考事例として研究する。



外山 弘樹 議員

市政運営の総括と課題について



令和7年度の整理と今後につなぐ市政運営について

◎主要施策の成果と課題をどのように整理されているか。

へ市長 秋葉山の復興植樹、新宮内公民館の開館による地域の賑わい創出、ふるさと納税額の過去最高額の更新、健康ポイント事業による健康のまちづくりの進展、物価高対策として全市民応援クーポン配布、小中学校や保育園等の給食費高騰支援など、市民の生活を守る取り組みを行った。

また、市民意向調査では、第6次総合計画の基本目標7項目のうち5項目で前回以上の市民満足度になり、総

合計画として成果があったと捉えている。一方で、出生数の減少が課題となっている。本市を取り巻く少子化の状況は非常に厳しいと認識している。

◎課題解決に向け具体的にどのような改善を図ろうとしているのか。

へ市長 持続可能な社会の実現を目指し、少子化への対応を最重要課題の一つとして取り組んでいく。その一因となる非婚率の増加に歯止めをかけるため、広域的な自治体間連携により結婚推進事業を進め、人口置換水準の2.07に近づきよう各種施策を展開していく。

◎本市の施策の状況や成果・課題などを、市民に分かりやすく伝える

ことは大切だ。情報発信で工夫したことや今後の取り組みについて市長の考えを伺いたい。

へ市長 市報やホームページ・SNSなどで情報発信を行ってきたが、改善の必要があると認識している。



こんな議案を審議しました

鋭く迫る！一般質問

委員会のついで

その他



中村 孝律 議員

街路樹と雪捨て場の管理 — 談話ホールの利活用

街路樹の維持管理

◎街路樹の老木化、育成不良、根上りによる歩道の破損、伐採後の植樹帯の維持管理について伺う。

〈市長〉日常的なパトロールのほか、年に一回国に報告するため、職員による点検を行っている。

◎伐採後の放置植樹帯は17カ所あるが、更新か、舗装して廃止か。

〈市長〉維持管理を考慮し、更新は行わず、安全性に配慮した管理を継続しながら今後について研究していく。

◎維持管理を継続するために、街路樹の基本方針の策定が必要では

〈市長〉安全を優先した管理を実施しながら近隣自治体の策定状況を

調査し研究していく。

◎AIを活用した樹木診断システムの導入を。

〈建設課長〉労務軽減につながることも踏まえ、検討していく。



雪捨て場の安全管理

◎現場パトロール、現地調査は行っているか

〈市長〉午前8時から午後5時15分まで常駐管理をしている。

◎雪捨て場の民間、個人の方への利用マニュアルなどはあるか。

〈市長〉現地での声がけだけ実施している。

◎気温の上昇などで雪面が軟弱になり通行に支障が出る事態が発生

しているが、対応は。

〈市長〉常駐している重機で搬入通路の雪面を踏み固める対応、管理を行っている。

◎雪面硬化剤を散布し、雪面を固め排雪車の安全と車の破損を防ぐ方法がある。試験的に実施してはどうか。

〈建設課長〉実施している自治体の状況を確認し、安全確保の観点から研究、検討する。

談話ホールの利活用

◎利用状況と企業の選定、展示品の更新は。

〈市長〉利用者数の集計は行っていない。

企業の選定基準はなく、展示品の更新時期も定めていない。

◎リノベーションして利用価値を高め、憩いの場にしてほしい。



茂出木 純也 議員

子育て支援の「入口」整備

職員の育児休業について

◎取得促進のために、新たに実施した取り組みは。

〈市長〉国の制度改正に準じて条例等の改正を行い、職員に情報提供している。

0～2歳児の保育料

◎県が実施している令和7年度から拡充した段階的負担軽減事業により、保護者の経済的負担の変化は。

〈市長〉利用する子供全体の31%だったカバー率が、令和7年度から新たに第5階層が追加されたことにより、約65%まで拡大しており、一定程度、負担感は軽減されたと認識している。

◎近隣自治体と比較した場合、本市の0～2歳児保育料の水準をどのように認識しているか。

〈市長〉本市は、国・県で軽減した基準に沿った水準だ。

置賜管内では、全階層無償が2自治体、4階層まで無償が3自治体である。

本市では、引続き県に事業の拡充と国への無償化の働きかけを要望していく。

◎近隣自治体と比較し「高い・同水準・低い」の、どれにあたるか。

〈すこやか子育て課長〉同水準と認識している。

◎0～2歳児期への支援が人口維持や定住促進に影響を与えると考えるか。

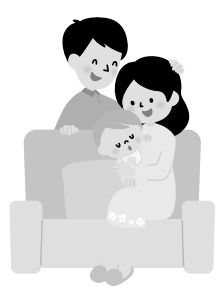
〈市長〉与えないわけではないが、予算の規模と費用対効果に疑問がある。

小学校下校後について

◎放課後子供教室や学童などあるが、課題は。

〈市長〉放課後子供教室は、毎日型として3小学校、イベント型として2小学校で実施し、学童保育は市内各施設で行っている。

いずれも、スタッフの確保が課題となっている。





小松 武美 議員

会計年度任用職員の処遇改善を

会計年度任用職員をフルタイムに

◎会計年度任用職員は、地方公務員法の適用を受け、規律や処罰ル―

ルも厳格化されている。にもかかわらず低い賃金なのは短時間勤務が原因であり、正職員の業務を補うとすれば、フルタイムの任用職員を増やす必要があるのではないか。

特に、子どもの安全確保のための保育職場や、学校給食センターでの調理を提供する作業や食の安全を考えれば、フルタイムにすべきと思うがその考えは、**〈市長〉**現在週35時間勤務を上限とした短時間勤務が基本となっているが、雇用状況や業務

量を考慮してフルタイムも考えていく。

◎会計年度任用職員の人事委員会勧告の反映と、期末手当の支給はあるのか。

〈市長〉人事委員会勧告を実施した場合は、正規職員と同様に4月に遡及して改定し報酬に反映している。期末手当の支給は、任期が6か月以上で、その内パートタイム職員は一週間当たりの勤務時間が平均15.5時間以上の場合に支給している。

南陽市小中学校適正規模・適正配置等検討委員会答申に子どもたちの意見反映を

◎こども基本法の第3条3項に「自己に直接関係するすべての事項

に関して意見を表明する機会が確保されること」とあるが、子ども

の意見を聞く機会は、**〈教育長〉**各学校で総合的な学習の時間を中心に、市民としての参画意識の醸成に努める。

◎答申では市内中学校を1校にするとあるが、教育委員会でもその方針で行くのか。
〈教育長〉「市内1校」を基本に検討している。

◎時期と場所は、**〈教育長〉**まだ検討中のため公表する段階にない。



佐藤 和広 議員

学校現場が抱える問題

教員の長時間労働と休日勤務について

◎小学校3割、中学校6割の教員が*過労死ラインを超えている。

本市の考えは、**〈教育長〉**教員が「働きやすさ」「働きがい」の双方を感じられる学校づくりを支援し、長時間労働の解消、教職の魅力向上を目指す。

オーレ」の通室者数と児童生徒の心の変化は、**〈教育長〉**小学校29人、中学校38人で小学校は過去最多。

「クオーレ」登録児童生徒数は、小学生8人、中学生10人の合計18人。学ぶ楽しさや分かる喜びを感じ、通室児童生徒同士や指導員との関わりを通して、自己存在感を感じできている。

◎市内小中学校の教員不足は何人か。また本市の対応は、**〈教育長〉**現時点で小学校の教員が3人不足しており非常勤講師を3人配置している。県教育委員会と危機感を共有し連携を図っている。



不登校問題について

◎市内小中学校の不登校児童生徒は何人か。また、教育相談室「ク

ICT活用への対応

◎情報・グローバル化といった社会的変化が進展する現在、ICT教育における本市の現状、これまでの実践とICTを最適に組み合わせる教育に対する本市の考えは、**〈教育長〉**一人一台タブ

教員不足について

レット端末等、ICT機器を積極的に活用し、個別最適、協働的な学びの実現を目指し、機器や教材の効果的な活用を促進していく。

◎「新採教員育成・支援事業」の現状は、**〈教育長〉**人員不足により新採教員が担任を担うことがあり戸惑う教員もいるため、バックアップする体制を構築している。

こんな議案を審議しました

鋭く迫る―一般質問

委員会のつぎ

その他

*過労死ライン…月80時間以上の時間外労働が過労死ラインと言われている。



高橋 一郎 議員

生成AIの教育課題と問題点

AIリテラシー（応用・判断力）教育の実施

◎自治体が主催し、住民（特に高齢者や子供）

向けに「AIの活用とリスク」を学ぶワークショップを開催。地域全体で「賢いユーザー」を育てることで、情報の分断を防ぐことができるが。

〈市長〉生成AIが急速に進化する中、市民ひとり一人が利便性を生かし、リスクを見極め回避するためのリテラシーを養うことは、情報格差の是正や安全・安心な社会の実現という観点から重要な課題だ。

学校教育でのAI活用の課題と問題点

◎学習面での思考力低

下、レポートの代行、評価基準の喪失、情報漏洩、倫理面バイアス、AIへの依存など。

しかし、AIの活用なしでの学習も生活も成り立っていないのも現実。教育現場へのAI導入について、小中学校における、問題点や課題とどのように向き合い、対策を講じて活用していくか。

〈教育長〉学習指導におけるAIの活用は、児童生徒ひとり一人のペースで課題を解決し、AIから得た気づきで学ぶことは大変有効だ。一方、主体的な思考力の低下や、対人関係スキルの低下など、学習面に関する懸念や個人情報流出、著作権侵害等の倫理的・安全

上に関する懸念などもあり、活用について慎重に考えている。対策としては、AI利用に係る規則やガイドライン等を策定し、児童生徒の主体的な学びを支援するツールとして活用できるよう環境整備に努める。

さらに、これまで同様、道徳教育や感性教育のみならず児童生徒が自分で考え、AIを活用していく方法を学ぶ教育を推進していく。

〈教育長〉中学時代の教育展開には、学校だけでは解決し得ない課題が多数混在していることから、教育課題の解決に努め「地域総合型教育」を展開している。全ての児童生徒にたくましく、しなやかに生き抜く力をつけるべく、多様性を持ち、人と人との関わりを感じることで、自分や他者、社会の幸福をも探究する子供の育成を目指し尽力する。



須藤 清市 議員

「学び」で人が集まる南陽市

小中学校教育再編を南陽未来づくりの中軸に

◎市立中学校一校の立

上げと小学校の統廃合が検討されている。中学生世代の成長において教育の展開と今後に向けての考えは。

〈教育長〉社会教育の展開と地区運営には、八つの公民館ごとの課題がある。地区民との交流の場所や支援活動の機会が縮小し、各地区役員選出にも苦労している。

青年教育の推進や若者層の地域参加を模索しながら、地域住民の意見や要望を尊重し、地域特性に応じたニーズにあった公民館運営を目指すことで住民の絆を深め、子どもたちの成長を支える環境を整えていく。

◎旧ハイジアパークに

新中学校を設置し、中央花公園周辺や向山球

◎市民の成長を守り支援する「社会教育」で、地区運営の現状や生涯教育の展開は。

〈教育長〉社会教育の展開と地区運営には、八つの公民館ごとの課題がある。地区民との交流の場所や支援活動の機会が縮小し、各地区役員選出にも苦労している。

青年教育の推進や若者層の地域参加を模索しながら、地域住民の意見や要望を尊重し、地域特性に応じたニーズにあった公民館運営を目指すことで住民の絆を深め、子どもたちの成長を支える環境を整えていく。

◎旧ハイジアパークに新中学校を設置し、中央花公園周辺や向山球



3月4日

中川公民館の屋根葺き替え

審査報告

付託議案5件

◆南陽市課設置条例の一部改正

文化会館に関する事務を、みらい戦略課から社会教育課に、市内循環バスの運行に関することを社会教育課からみらい戦略課に変更するもの。

◆南陽市行政手続条例の一部改正

公示送達的方式（市庁舎掲示場での書面掲示のみ）を、インターネットによる閲覧も可能とするもの。

◆南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

夏季休暇を見直すもので、取得日数を「5日」から「6日」とし、取得可能期間は「7月から9月まで」を「6月から10月まで」とす

る。

◆南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

①給料表の改定
県人事委員会勧告により、県に準じ行政職給料表の4級と5級に8号給を増設するもの。
②人事院及び県人事委員会勧告により、自動車等使用者の通勤手当支給月額の限度額を、（片道45km以上2万8千300円）を（片道100km以上6万6千400円）に引き上げるもの。

◆中川辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更について

中川公民館（中川区構造改善センター）は、平成元年度の建設であり老朽化が進んでいる。今後も継続して使用するため、屋根の葺き替え工事を行うもの。
（委員長 須藤清市）

文教厚生
常任委員会

3月5日

赤湯幼稚園が新たに認定こども園に

審査報告

付託議案5件

◆南陽市立認定こども園設置条例の設定

赤湯幼稚園を新たに幼稚園の教育機能と、保育園の保育機能を併せた認定こども園に移行するにあたり、その設置に関する事項を条例で定め、関係条例を整理するもの。

◆南陽市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定

新たな通園制度として、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が令和8年度から給付化されることに伴い、職員配置や面積要件等、事業を実施する際の認可を受けるために必要な基準を定めるもの。

◆特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定

乳児等通園支援事業について、事業実施者の利用定員の設定、職員の勤務体制の確保、苦情対応等、運営の適格性を市が確認するために基準を定めるもの。

◆児童福祉法等の一部改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定

虐待対応の強化を図るための児童福祉法等の一部改正に伴い関係条例の引用箇所を整理するもの。

◆南陽市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定

赤湯小学校と統合した中川小学校について、令和8年3月末をもって学校施設としての利用を廃止するにあたり、所要の改正を行うもの。
（委員長 山口裕昭）

産業建設 常任委員会

3月6日

企業立地奨励金の拡充！

審査報告

付託議案4件

◆南陽市中小企業等緊急経済対策利子補給等基金条例の設定

●国から交付を受ける「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の一部を、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業を支援するため実施した、南陽市中小企業等緊急経済対策に係る利子補給事業の利子補給金及び信用保証料補給事業の保証料補給金に充てるため南陽市中小企業等緊急経済対策利子補給等基金を設置する。

◆南陽市火入れに関する条例の一部改正
●消防庁が定める「火災予防条例(例)」の一部改正による所要の改正で、林野火災の予防

を目的とした、林野火災注意報及び林野火災警報の運用開始に伴い、条例の一部を改正する。



◆南陽市企業立地促進条例の一部改正

●事業所の新設及び増設並びに設備投資を積極的に奨励し、企業誘致の促進及び立地企業との定着並びに雇用の増大を図ることを目的に、企業立地に対する奨励措置を拡大するため、条例の一部を改正する。

◆南陽市道路占用料徴収条例の一部改正

●道路法施行令の一部改正に伴い、道路占用料を徴収する施設を追加するため、条例の一部を改正する。
(委員長 伊藤英司)

市議会議場に市民の皆さまをご招待して 山形交響楽団カルテットの ミニコンサートが開催されました



昨年に引き続き「開かれた議会」の一環として、3月19日(木)の3月定例会最終日終了後、山形交響楽団の弦楽4重奏(カルテット)によるミニコンサートを、今年はいらい議会議員の皆さんや市報・議会だよりを通じてご応募いただいた市民の皆様をご招待して、南陽市議会議場で開催いたしました。

山形交響楽団、西濱専務理事のユーモアあふれる曲紹介や、普段体験できないほどの間近で演奏される、クラシックやスタジオジブリの名曲の美しく澄んだ音色の数々に、市議会議場を埋め尽くした約160名の聴衆は、幻想的で深い感動のひとつを過ごしました。

第1Vai… 犬伏 亜里
第2Vai… 堀越 瑞生
Vla… 山中 保人
Vc… 渡邊 研多郎
の皆さん*で、演奏曲は



☆アイネ・クライネ・ナハトムジーク
☆春の声
☆ピチカートポルカ
☆マイ・ウェイ
☆地上の星
☆君を乗せて
☆早春賦

以上の7曲でした。
南陽市議会では、今後も市民に開かれた議会を目指し、市民の皆様にご参加いただけるような様々な企画を計画してまいります。

*Vai… ヴァイオリン
Vla… ヴァイオラ
Vc… チェロ

令和8年1月16日議会だより掲載 185号表紙記載誤りのお詫び

去る1月16日発行の議会だより185号の表紙に掲載いたしました防火標語におきまして、本来「防火」と記載すべきところ、校正の誤りにより「放火」という不適切な表記で掲載しておりました。防火を呼びかけるはずの紙面で、その意図とは真逆の放火という文字を掲載してしまったことは、あってはならない重大な事態であり、市民の皆様大変不快な思いをさせてしまい誤解を招く結果となりました。

安全への願いを込めて防火標語を作成いただいた児童生徒及び保護者の皆様、日頃より防火活動にご尽力いただいている消防関係者や地域住民の皆様のご熱意を損なう結果となりましたことを深く反省し、市民の皆様ならびに関係各位に深くお詫び申し上げます。

本件は、紙面を作成する過程における確認体制の不備と重大な見落としが原因であります。今回の事態を真摯に受け止め、再発防止に努めてまいるとともに、今後はより一層の緊張感を持って、単に情報を伝えるだけではなく、市民の皆様に分かりやすく、そして親しみを感じていただける「議会だより」を目指し紙面作成にあたります。住民の皆様のご生活に寄り添い、安全・安心なまちづくりに資する情報を正確に届けるという議会だより本来の使命を果たすべく精進してまいります。改めて、心よりお詫び申し上げますとともに、信頼回復に努めてまいります。この度は誠に申し訳ございませんでした。

議会報編集委員長 山口 裕昭

「議会だより」発行日変更のお知らせ

前回の185号まで「定例会翌月の16日」を発行日としておりましたが、「議会だより」ですが、今回より発行日を「定例会翌々月の1日」の発行日と変更させていただきますことになりました。

これは、前回185号で発生した問題の反省から、編集作業時に校正時間を充分設け、今後同様の校正の不備による問題発生を防止するとともに、紙面の更なる充実を図るために必要と考えての対応となります。

この度の問題を糧にし、市民の皆様は今まで以上に手に取って読んでいただける「議会だより」を目指し、委員一同取り組んで参ります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

議会報編集委員会

委員長 山口 裕昭

議会人事のお知らせ

4月6日、令和8年第1回臨時会が開かれ、任期4年のうち後期2年間の正副議長及び常任委員長等の選挙、選任を行いました。

〈各委員会構成〉

総務常任委員会 5名	
委員長	中村 孝律
副委員長	小松 武美
委員	須藤 清市
委員	高橋 一郎
委員	遠藤 榮吉

文教厚生常任委員会 6名	
委員長	佐藤 信行
副委員長	濱田藤兵衛
委員	高岡 遼多
委員	大友 太郎
委員	佐藤 和広
委員	山口 裕昭

議会運営委員会 6名	
委員長	山口 裕昭
副委員長	伊藤 英司
委員	大友 太郎
委員	佐藤 和広
委員	須藤 清市
委員	高橋 一郎

産業建設常任委員会 5名	
委員長	外山 弘樹
副委員長	茂出木純也
委員	伊藤 英司
委員	島津善衛門
委員	板垣致江子



副議長 島津善衛門氏



議長 遠藤榮吉氏

議会内会派3会派

令和8年4月6日現在

◎会派会長

◆保守公明クラブ（7名）

- ◎山口裕昭、大友太郎、佐藤和広、中村孝律、外山弘樹、佐藤信行、伊藤英司

◆六りくごう合会（2名）

- ◎高岡遼多、須藤清市

◆真政会（2名）

- ◎板垣致江子、高橋一郎

◆会派に属さない議員

- 茂出木純也、小松武美、濱田藤兵衛、島津善衛門、遠藤榮吉

※正副議長は会派離脱



議会選出各種役職名簿

(令和8年4月6日現在)

役職区分・委員会等区分	区分	正副議長	総務常任委員会	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会
1 置賜広域行政事務組合議会議員	広域	議長 遠藤 榮吉	山口 裕昭、高橋 一郎		
2 置賜広域病院企業団議会議員	広域	議長 遠藤 榮吉	伊藤 英司、須藤 清市		
3 市監査委員	市		板垣致江子		
4 山形県開発推進協議会会員	県	議長 遠藤 榮吉			
5 置賜総合開発協議会委員	広域	議長 遠藤 榮吉			
6 フラワー長井線利用拡大協議会構成員	広域	議長 遠藤 榮吉			
7 米沢平野農業水利事業推進協議会委員	広域	議長 遠藤 榮吉			委員長 外山 弘樹
8 表彰者選考委員会委員	市	議長 遠藤 榮吉			
9 広報委員会委員	市		須藤 清市		
10 振興審議会委員	市	議長 遠藤 榮吉	須藤 清市	大友 太郎	茂出木純也
11 日中友好協会役員	市	議長 遠藤 榮吉			
12 環境対策協議会委員	市			佐藤 和広	
13 交通安全対策協議会理事	市			委員長 佐藤 信行	
14 介護保険運営協議会委員	市			委員長 佐藤 信行 濱田藤兵衛	
15 地域包括支援センター運営協議会委員	市			委員長 佐藤 信行	
16 国民健康保険運営協議会委員	市		小松 武美	佐藤 信行	板垣致江子
17 農業振興地域整備促進協議会委員	市				茂出木純也
18 農業振興協議会委員	市	議長 遠藤 榮吉			委員長 外山 弘樹
19 企業誘致委員会委員	市		高橋 一郎	高岡 遼多	島津善衛門
20 菊のまちづくり推進協議会役員	市	議長 遠藤 榮吉			委員長 外山 弘樹
21 菊まつり実行委員会委員	市	副議長 島津善衛門			委員長 外山 弘樹 副委員長 茂出木純也
22 ワインの里づくり委員会委員	市				伊藤 英司
23 土地開発公社理事	市		遠藤 榮吉	山口 裕昭	島津善衛門
24 都市計画審議会委員	市		中村 孝律	濱田藤兵衛	伊藤 英司
25 空家等対策協議会委員	市				委員長 外山 弘樹
26 教育振興審議委員会委員	市			委員長 佐藤 信行	
27 スポーツ推進審議会委員	市			佐藤 和広	
28 スポーツ振興基金運用委員会委員	市			佐藤 和広	
29 ゼロカーボン推進協議会委員	市			佐藤 和広	

3月定例会

ふるさと納税返礼品

今回は、菓子工房 白いくも様よりご提供いただいたホワイトチョコレートのバターケーキ「また降りだした雪のよう」を議長席隣に展示させていただきました。

菓子工房 白いくも様は、本年2月に大手菓子メーカー様とのコラボ商品が販売され大人気となるなど、知名度が益々高まっており、ふるさと納税返礼品でも人気の菓子工房となっております。

市内にある自社ショップでも購入可能な商品となっておりますので、ぜひご賞味ください。



烏帽子山公園全景写真



表紙写真

赤湯温泉を眼下にする烏帽子山公園は、全国最大級の「エドヒガンザクラの群生地」で、約25種類の桜が約1千本あり、大回廊の中を散策できる本市が誇る桜の名所です。

弥生時代には、桜は穀物の神が宿る樹木として祀られていました。桜の花見が始まったのは平安時代です。

現在のように、桜の木の下で宴会を行うスタイルになったのは鎌倉時代とのことです。

桜は私たち日本人にとって、生死の象徴であり、愛らしい花は春の訪れを告げ、農耕の始まりを知らせます。今年も沢山の花を咲かせ、夜桜でも多くの桜人（観光客）を楽しませてくれました。

(中村 孝律)

編集後記



今回がこのメンバーで作る最後の議会だよりとなりました。2年間ご愛読ありがとうございました。

(山口 裕昭)

この間、問題もありましたが、委員の皆様にも助けられ、何とか最後までやり遂げることが出来ました。

委員長 山口 裕昭
副委員長 伊藤 英司
委員 小松 武美

次号からは新規メンバーで、発行日も変わり心機一転のスタート

委員 中村 孝律
委員 茂出木 純也
委員 高岡 遼多